

＜有識者 特定非営利活動法人福祉サポートセンターさわやか岐阜みのじ

理事長 加藤 たき江 様＞

県 側 今、医療を取り巻く環境というのは厳しいところがございます、県としては県立病院を今後どのようにしていくかということで検討しております。

最初に、総合医療センターにどういう印象をお持ちかお聞かせいただきたいと思います。

加藤様 県立岐阜病院が建て直されたのは知っておりますが、岐阜病院が総合医療センターであるという認識はありませんでした。申し訳ございません。

岐阜県が作っている県立病院ですので、県民の皆さまが満足されるような良質な医療を提供される、皆さまから安心と信頼を受けるような病院であっていただきたい。それらが使命だと思います。

私どもはNPO法人ですが、福祉で社会貢献していこうと思っております。県民の皆さまが安心して医療をお願いできるような、県民から信頼される総合医療センターになることが第一だと思います。高度専門医療を提供していただきたい。

県 側 今、医療の従事者の確保が非常に難しい時代です。県立病院も民間と競争しながら人の確保をやろうと思うと、公務員という形でなく、民間的手法を取り入れることが可能な地方独立行政法人化というものを検討しております。

加藤様 地方独立行政法人ということですが、私は全部適用がいいと思っておりました。今は財務だけやっていると聞きましたので、看護師さんの不足だとか、お医者さんの不足といいますと、組織や人事なども、やっぱり3つのことをやっていかないと迅速に対応するということは難しいと思います。

県 側 県立病院の役割が高度医療等に移ってきました。

加藤様 民間の病院もありますので、やはり高度な医療で、県立病院へ行けば助かるんだろうとか、癌とかですね、血管障害もそうですが、一刻を争ういろんなことがありますから、高度な医療を是非県立病院でやっていただきたい。

そうすると県民は安心できます。民間ですと、どちらかと言いますと競争意識が多いといいますか、そうでなくてやっぱり県は高度な医療を目指していただきたい。

県 側 県立病院のあり方に関して疑問に思われた点があればお願いします。制度の話になるとなかなか分かりにくいところあると思いますが。

加藤様 県立病院の役割とありますが、やはり県民の方のための医療をしていただきたいということです。

それと、救急救命です。火傷であるとか、血管障害であるとか、もし何かあったときに県立病院へ行けば大丈夫だという、そういうものが社会が望む県立病院ということでしょうか。

急性期も慢性期もというのはなかなか厳しいでしょうから、役割を分担する。子どもさんの医療もお母さんの医療も大事だと思います。

もう一つお願いできるならば、認知症の治療研究は岐阜県ではどうでしょうか。そういう専門をお願いしたい。私どもはグループホームを運営していますが、認知症をよく知る、よく勉強された先生が少ないといえますか、これから認知症はもっと大きな問題になりますから、認知症に対応した医療や研究があったらいいなあと考えております。

県 側 他に加藤さんの思いがおありであれば承ります。

加藤様 効率的な病院運営にするというところ、県立病院として健全な運営をお願いしたい。効率的といいますと競争や利益追求というイメージがありますので、あまり好きではありません。

県民が意見を言えるような形態にしていきたいと思います。地方独立行政法人の形態になりました時には、県民を交えた「病院をよくする会」のような会があり、県民が発言できる場が必要かと思います。

やっぱり県立病院は、レベルの高い、高度な医療を提供していただきたいと思いますし、いざという時に頼りになる病院であって欲しいですね。